

## 令和5年 年末訓示

今年も、働き方改革の一環として、年末の休みを明日から取得できるよう、御用納めの前日ではありますが、年末の訓示を行います。

改めて、この一年間、職員の皆さん、大変ご苦勞様でございました。

今年は、5月から「新型コロナウイルス感染症」への対応が緩和され、やっと、いろいろなことが通常に戻せた1年ではなかったのかと思います。

特に、イベントにおいては、東海まつりを初めとして、大空マルシェもI～MOのまつりもどれも大盛況でした。産業政策課や観光協会の職員はもちろんのこと、多くの職員の皆さんには、スタッフやボランティアとして、そして参加者としても、ご協力頂きましたことに、改めて感謝申し上げたいと思います。

今年は、災害という意味で、2つの大きな出来事がありました。

9月の台風13号では、1時間あたり70mmを超える集中豪雨により、村内数か所で冠水被害が発生し、図書館や照沼小学校でも被害を受けました。日立市をはじめとした県北3市ほどではありませんでしたが、これまでの想定を超えた広範囲にわたる被害となりましたので、建設部や産業部だけでなく多くの職員の皆さんに対応していただきましたが、本当に良くやってくれたと思っています。

また、今月初めに発生した「役場庁舎への車突入事件」につきましては、突然の出来事で、多くの職員も不安に感じたことと思いますが、幸いにして、職員や住民の方々に被害が出ず、本当に安堵したところです。理不尽な暴力に改めて強い憤りを感じているところです。現在、各施設において、必要な安全対策を検討していると思いますが、住民の方々の安全はもちろんのこと、職員の皆さんの安全も考えて、早急に対策を講じてまいりたいと考えております。

今年は、庁内の体制を見直し、新たに「地域戦略推進実行本部」を設置し、DXやGXなど部局を超えて横断的に取り組む課題に対応してまいりました。また、各種政策プロジェクトを推進するためのチームも設置し、具体的な議論を進めてもらっています。特に、BPR実行計画の推進やオフィス改革の推進は全庁的な取組みとして、通常業務に加えての作業となっており、負担と感じている職員もいるかとは思いますが、今後の働き方改革に必要な取組みでありますので、是非、成果に繋げてもらいたいと期待しているところです。

その他の役場の仕事について、いくつか取り上げてみたいと思います。

今年は、4年振りにアイダホフォールズ市との相互交流が再開できました。学生訪問団の受け入れと一般訪問団の派遣を行いました。政策推進課をはじめとして、関係各課の協力を得ながら、コロナ禍前と変わらない市民交流が実現できたものと感じています。両市村の友情が深まり、これまで以上の交流活性化に向けて、今後とも努力してまいります。

また、生涯学習課においては、宇宙線ミュオンによる古墳探求プロジェクトがスタートし、測定器制作から古墳探求までを子ども達が行うという全国初のプログラムということで、新聞等でも大いに取り上げてもらいました。「歴史と未来の交流館」が出来て、「J-PARC」という本村にしかない地域資源と上手く融合した東海村だからこそ出来るプロジェクトとなっていますので、来年度の古墳探査に向けて、一層の推進を図っていただければと思います。

その他には、財政経営課において、公共施設の在り方をテーマとした「自分ごと化会議」の開催や、政策推進課においては、まちづくりと子育て・若者支援をテーマとした「タウンミーティング」の開催など、住民との対話を重視した場も数多くセッティングしていただきました。私自身の「ふれあいトーク」もそうですが、住民との対話、住民同士の対話は、今後とも重要な取組みの一つであると考えておりますので、職員の皆さんにも常に意識しながら職務にあたっていただきたいと思っております。

なお、年明けには、村議会議員選挙が控えています。村民の皆さんの村政に対する想いや願いが託される重要な選挙となります。選挙事務は、正確に迅速に対応することが求められていますので、リハーサル等入念な準備を行い、投票事務・開票事務にあたっていただきたいと思っております。よろしくお願ひします。

最後に、原子力政策においても触れておきたいと思っております。東海第二発電所については、「広域避難計画」の策定が課題となっておりますが、懸案となっていました避難所の確保に目途がつき、研究炉等を対象とした「屋内退避・避難誘導計画」と一本化した「東海村住民避難計画」として、本日の防災会議で決定したところであります。防災原子力安全課の皆さんには、本当に良く頑張ってもらいました。今後は、村民の皆様にも、原子力災害が発生した場合には、発災事業所によって、初動・避難行動・避難先が異なることを十分に理解していただけるよう、周知活動に努めてまいりたいと考えております。職員の皆さんも、本村にとって重要な計画となりますので、全員がしっかりと理解して、いざという時に行動出来るように努めてください。

このほかにも、各課で取り組んでもらった仕事は多数あります。一つひとつお話しすることはできませんが、全体としては、概ね順調に、事業を推進できたのではないかと感じております。大変ご苦労様でした。

今年の年末年始の休みは6日間ですが、有給休暇も上手に使いながら、しっかりとリフレッシュしてください。特に、家族との時間を大切にしてください。

結びに、今年一年の皆さんの働きに改めて感謝申し上げますとともに、年明けには、皆さんが元気に顔を揃えていただけるよう祈念しております。

皆さん、良い年をお迎えください。